



BSOL 導入事例

インタビュー先：日本コンサルタンツ株式会社

日本コンサルタンツ株式会社は、日本の代表的な鉄道事業者により設立された輸送機関を専門とするコンサルタント会社です。EN、BS、ASTM、IEC など国際的に利用されている10万点以上の規格にアクセスできるオンラインの規格データベース「BSOL (British Standards Online)」ご導入の背景やご利用状況について、技術本部 林仲明 様に伺いました。

— 貴社のご紹介をお願いいたします。

弊社は2011年の11月にJR東日本様、JR西日本様、東京地下鉄様などの日本国内の鉄道事業者10社の出資で設立された、輸送機関を専門とするコンサルタント会社になります。弊社では、新幹線を代表する高速鉄道、都市鉄道、都市間鉄道、鉄道の再生事業や近代化等、各国の様々な鉄道プロジェクト等を担当しております。

具体的には、マスタープランの作成、事業可能性調査、設計・施工管理、また経営やメンテナンスのノウハウの提供、従業員の教育や訓練の計画等になります。鉄道システムを導入するにあたっての分野が幅広くあり、例えば土木、軌道、輸送計画、車両、電力、信号通信、運行管理システム、駅開発や都市開発等があります。そういった各分野に対応する技術を基に、各国の鉄道に対する数々のニーズや、技術レベル、国民性や文化といったものを把握し、より良い鉄道システムができるように提案させていただいております。設立当初からこれまで100件以上の案件を受注しており、海外鉄道コンサルタント会社として世界各国の交通インフラの充実と、日本のインフラシステム輸出の推進に貢献している会社になります。

— ご利用の規格についてはいかがでしょうか？

プロジェクトによって求められる規格が異なる場合があります。例えば日本国内の事業者様との取引であれば、主にJIS規格、JRIS規格(日本鉄道車両工業会規格)の2つが使用されています。しかし海外の事業者様との取引であれば、国内の規格は使用できず、ISO規格、IEC規格といった国際規格が求められます。日本の円借款に関連するプロジェクトの場合はJIS規格が進めることはありますが、最終的には国際的に認められているISO規格やIEC規格が求められることが多々あります。さらに欧州系の

事業者、コンサルタント、メーカーなどが参画するプロジェクトの場合は、EN規格が求められることがあります。分野によっても求められる規格が異なり、信号や通信の分野ですと、IEEE規格、ITU規格等が、私が担当する鉄道車両で言えば、ASTM規格等が使用されることもあります。

— 規格をご利用になるメリットや影響についてお聞かせください。

顧客である事業者様に対して、製品、システム等の安全性や信頼性を理解していただく際にメリットがあると思っています。事業者様に対しても、国際的に実績がある規格に準拠したものを提案することで、スムーズに理解をいただくことが出来ます。また、鉄道車両製造の施工監理において、メーカー様が製作した部品や車両の品質、安全性、信頼性が常に問われます。試験や検査の結果と規格の基準値を照らし合わせることで、品質を容易に判断できますので、規格はなくてはならない存在です。

— 規格をご利用になる際に気を付けていらっしゃる点、お悩みなどがあればお聞かせください。

今、使用する規格が最新版かどうかは常に意識しています。事業者様からは、最新版の規格に則った製品、システムの納入の要望が多いので、使用される規格が最新版かどうかの確認は常に行っています。メーカー様に



技術本部 林仲明 様

作成いただく技術図書には、適用する規格を明記いただいており、その規格が最新版かどうか確認する必要があります。場合によっては100から200程度の規格をチェックすることもありますので、その確認に時間がかかってしまうところが悩みでもあります。

— BSOL をお選びいただいた理由と経緯についてお聞かせください。

BSOL を導入することで運用と管理が容易になると思いました。規格は常に更新されるものですので、最新版を都度確認し購入する必要があります。そこで、書籍版での都度購入を止めて、最新版の規格を関係者全員がデータベース上で閲覧できる BSOL の導入を決めました。またオンラインで使用できますので、書籍版と違って保存場所を考慮する必要がなく、海外にいる場合も容易に閲覧できる点も魅力的でした。私も海外出張が多く、海外にいる際に規格が必要な場合がありますので、オンライン上で確認できる BSOL は非常に役立っています。私だけでなく、弊社の多くの社員が海外事業者様と仕事をしているため、海外から容易にアクセスできる点も導入の理由になりました。コスト面においても、ある程度の数の規格を管理していくのであれば、個別に規格を購入するよりもコストを抑えられるため、助かっております。

— BSOL のご活用状況、利点をお聞かせください。

オンライン上で一元管理ができるので、それは助かっている点です。以前の書籍版での管理ですと、誰がどの規格を持っているかを把握するのが難しく、海外などの出張先での確認が難しいという欠点がありました。BSOL ですと必要な規格を関係者全員がいつでもどこでもオンライン上で閲覧できるので、業務の効率化に貢献しています。また、最近はウェブでの会議が多いので、会議の中で規格に関する話題が出た時に、じゃあ BSOL をチェックしてみようかとすぐに確認ができるのも便利な点です。

あとは BSOL にリンクされている Standards Development Portal (関連サイト) は規格の改訂スケジュールを確認できるのでよく参照しています。新しい ISO や IEC は発行されても即時採択されない場合がありますので、リードタイムの確認ができる点が助かっています。

— ありがとうございます。



日本コンサルタンツ様は、国内唯一の海外鉄道向けコンサルタントとして、相手国・地域にとって最適な鉄道システムをトータルで提案しております。



インドネシア・ジャカルタ地下鉄公社 (Jakarta MRT) のコンサルティングサービスにも携わっております。



インドネシア・ジャカルタ地下鉄公社 (Jakarta MRT) との運行トレーニング時の様子。